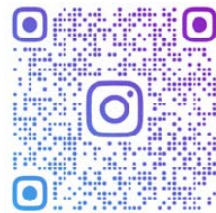


土木職員紹介



Instagram
やっています！



静岡県

はじめに

土木職員の使命

土木職員の仕事は、道路、まちづくり、治水など様々な分野の社会インフラ整備です。

これらの社会インフラは、県民の毎日の暮らしの中で利用されるとともに、地震・津波・豪雨等による災害から人命・財産を守るなど、非常に重要な役割を担っています。



社会インフラの整備については、長らく建設に力点を置き量の拡大を目指してきましたが、以前のように多くの予算を投入できなくなっている状況の中で、量から質への転換が求められるようになりました。

このような時代の変化にあっても、必要な建設は推進し、施設を安全な状態に維持・管理するという土木職員の使命は変わりません。

現在、静岡県では700名以上の土木職員が、必要な社会インフラを建設、また、施設を安全な状態に維持・管理し、県土の発展や、県民の生活の向上などを支えています。

土木職員に求められるもの

県では、事業を進めるにあたり計画作りの段階から地域の方が参画する「協働」や、事業について地域の方に正しく伝わる広報に、積極的に取り組んでおり、地域の方々と触れ合う機会が増えています。

そのため、土木職員に求められるものは、相手の意見に耳を傾け、その意見に対し自分の考えを的確に伝えることができる「コミュニケーション能力」です。コミュニケーション能力は、迅速な対応を求められる災害時等において、組織一丸となって仕事を進める上

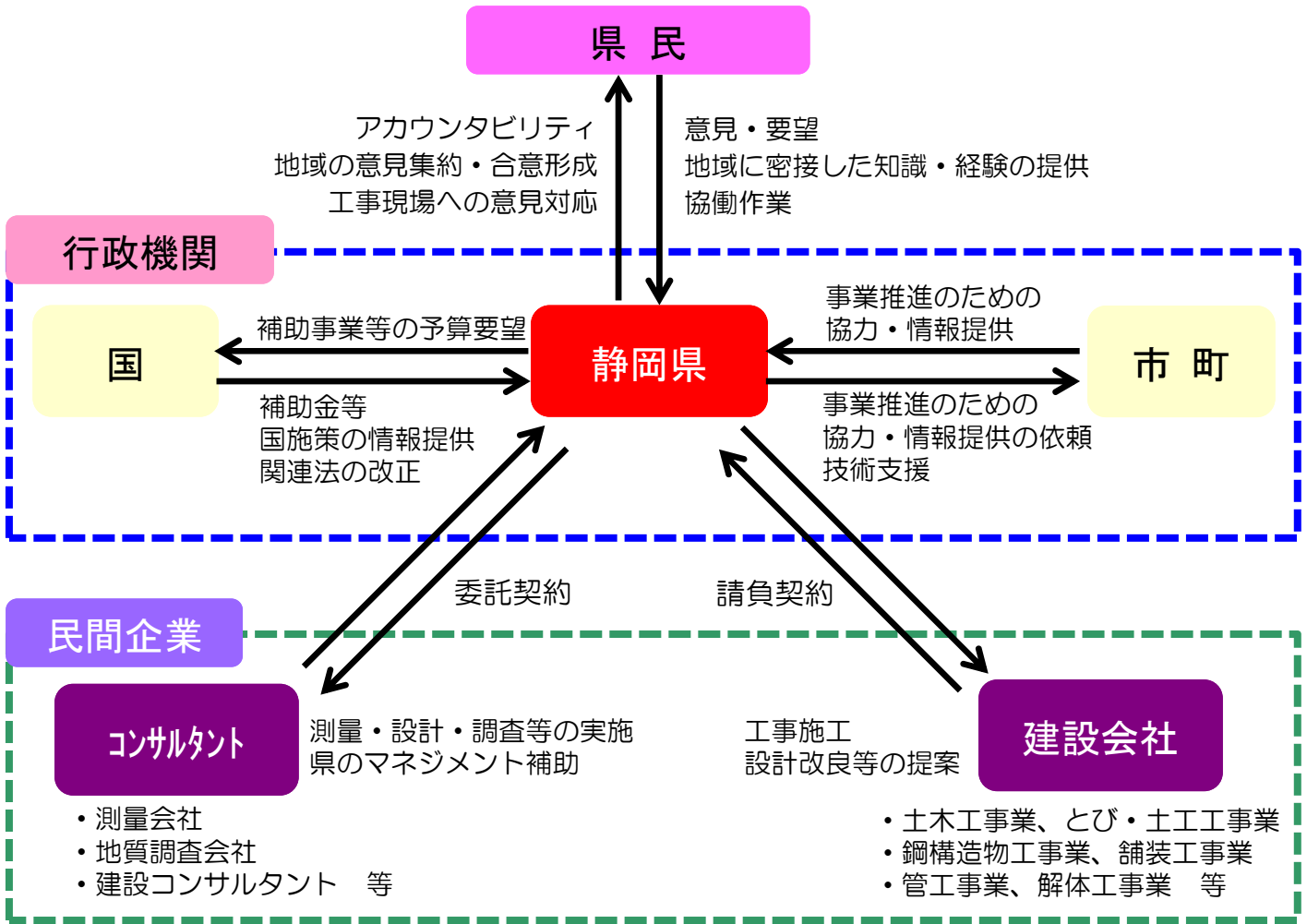


でも非常に大切なことです。

また、組織の実行力を高めるため、「コミュニケーション」以外の『能力』である「マネジメント」、「スキル」について、日々、磨きに努める姿勢が求められています。

県が実施する社会インフラの整備

県では、県民からの意見や地域の課題に対し、国や市町、民間企業と協力して社会インフラの整備を実施しています。

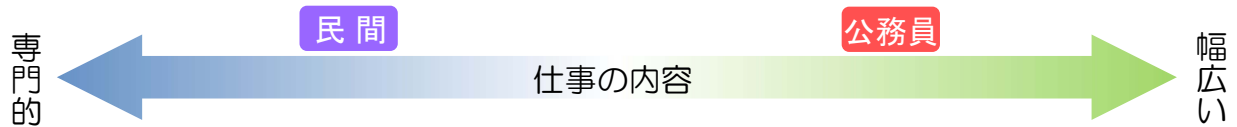


(注) この図はイメージであり、当てはまらない場合もあります。

(参考) 民間、国、市町との比較

※ 長期的・大規模な仕事から、住民密着の仕事もあり、幅広い経験ができます。

—— 民間と公務員の違いは？ ——



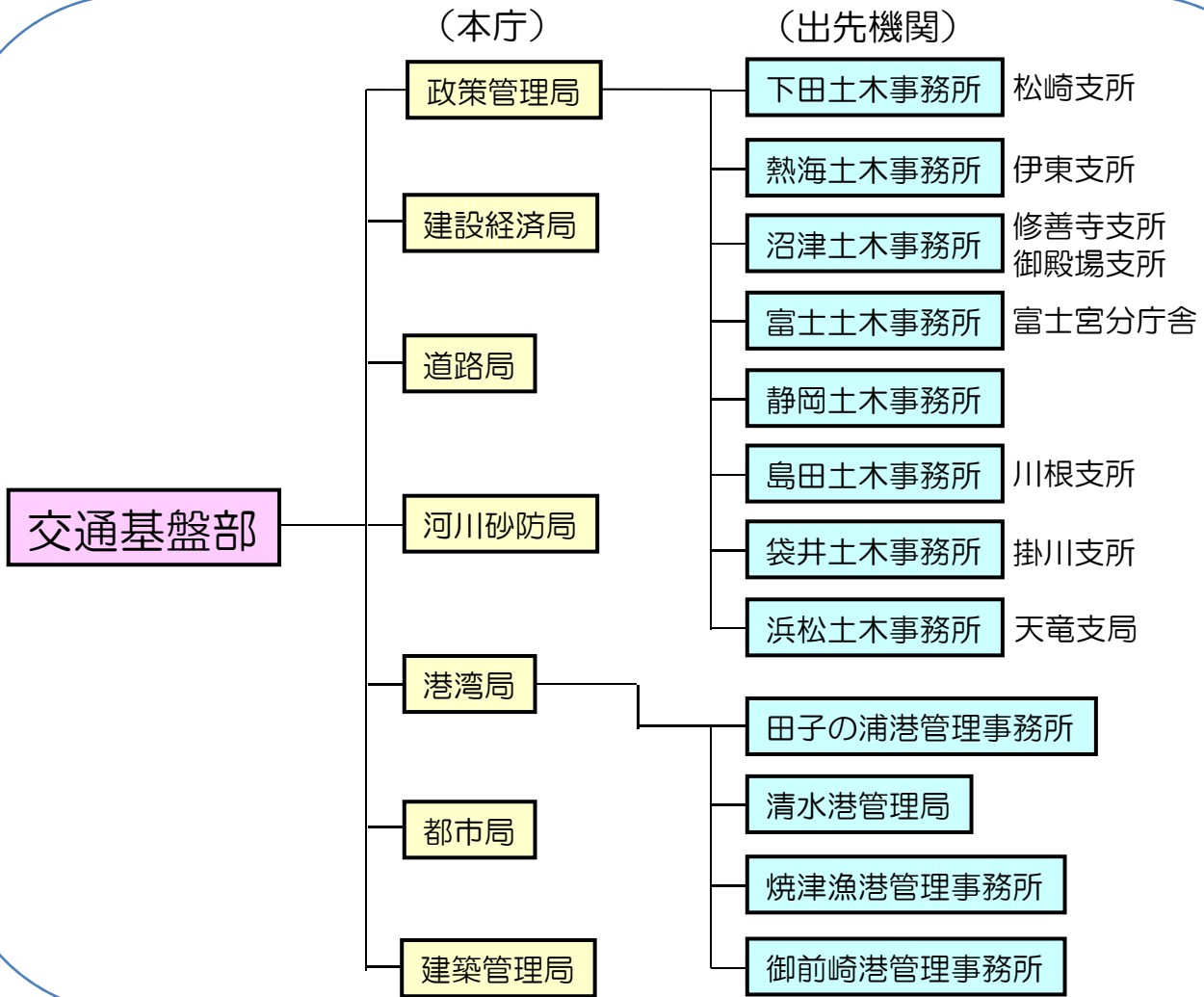
—— 国、市町との違いは？ ——



(注) このグラフはイメージであり、当てはまらない場合もあります。

土木職員のジョブローテーション

土木職員は、主に社会インフラの建設、維持・管理を担う交通基盤部の本庁または出先機関に配属され、能力開発期にあたる主任クラスまで（30代半ばまで）は、3年を目途に異動しています。



一定程度の経験を得たのち、交通基盤部以外に配属されることがあります。

他部局（本庁・出先機関）

危機管理部、経営管理部、くらし・環境部、スポーツ・文化観光部、企業局、警察 等

国・市町派遣

国土交通省本省
国土交通省中部地方整備局
県内市町

大学

政策研究大学院大学

民間企業

富士山静岡空港(株)

外郭団体

静岡県道路公社
日本下水道事業団（県内）
一般社団法人 清水みなと
まちづくり公民連携協議会

交通基盤部

交通基盤部の基本理念

土木職員の多くが所属する交通基盤部では、社会インフラ整備を県民の視点に立ち、いっしょに進めていくことが重要であるとの思いから、基本理念を定め、取り組んでいます。

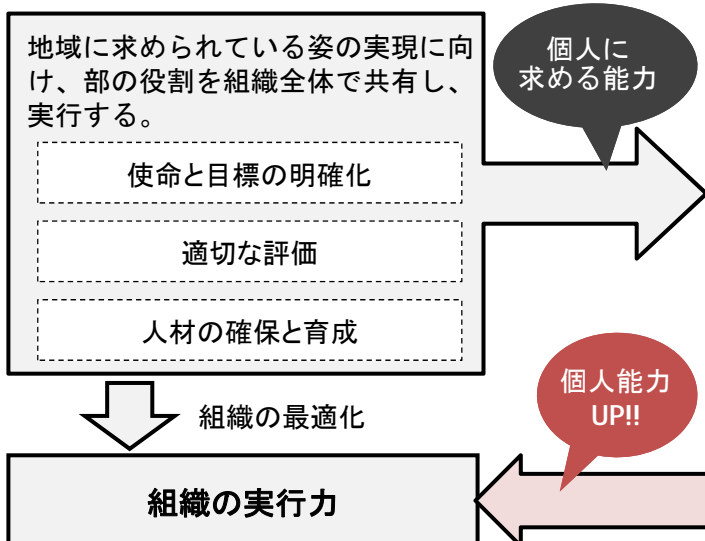


交通基盤部の行動指針

- ・県民の視点に立って、地域の皆さんと**協働**で仕事を進めます。
- ・地球環境のために**資源3R**の循環型社会をめざします。
- ・つねにコスト・時間を意識して、**生産性の向上**に努めます。
- ・私たち全員が**コンプライアンス**(法令遵守)を徹底します。
- ・情報をオープンにして、つねに**広報・広聴**に努めます。
- ・事業を超えて**連携**し、効率を高めます。
- ・**県土づくりの専門家**として、つねに技術力を磨きます。

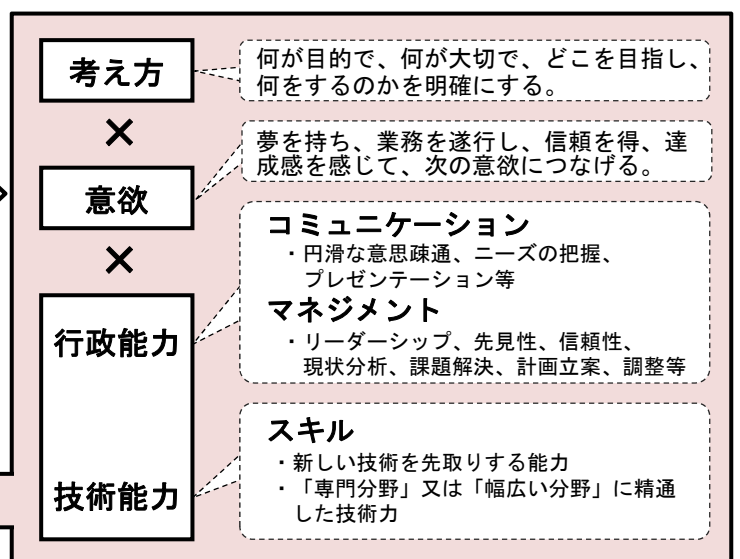
組織の目指すべき姿・技術者のあり方

■組織の目指すべき姿



■技術者のあり方

個人の能力を高め、技術者としての自信と誇りを持つ。



交通基盤部

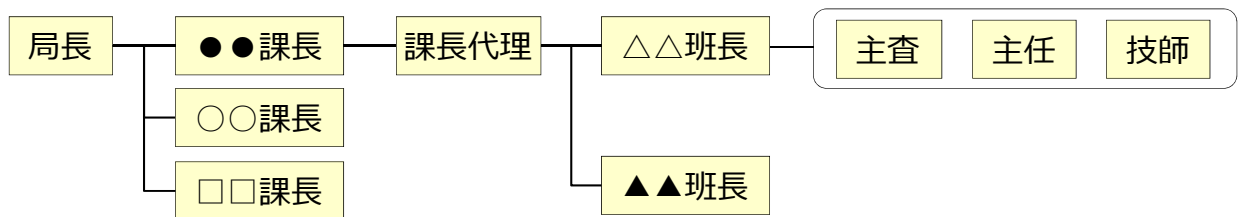
本庁の業務内容

事業を所管する局（道路局、河川砂防局など）は、担当事業における県全体の予算管理や計画調整の業務を行います。県全体として事業効果が効率よく速やかに発揮できるように、予算管理する部局、国の担当省庁、市町及び関係団体と調整します。

政策管理局や建設経済局は、広報、技術支援、検査などを担当し、事業が円滑に行われるための環境づくりを行っています。

事業担当	政策管理局	：政策調整、広報
	建設経済局	：技術支援、新技術、検査
	道路局	：道路、橋梁、トンネル
	河川砂防局	：河川、海岸、砂防 災害復旧
	港湾局 都市局	：港湾、漁港 ：都市計画、景観 街路、公園、地域交通、 下水道

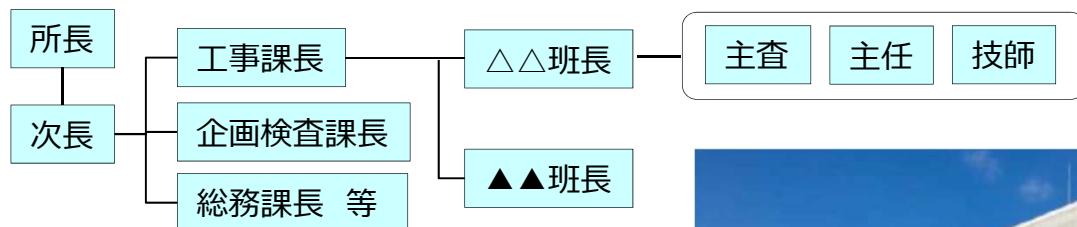
本庁の組織体制（例）



出先機関の業務内容

出先機関では、主に、管轄地域における道路、河川、港湾などの社会インフラの建設、維持・管理、災害復旧、地域住民への説明や情報提供を行っています。

出先機関の組織体制（例）



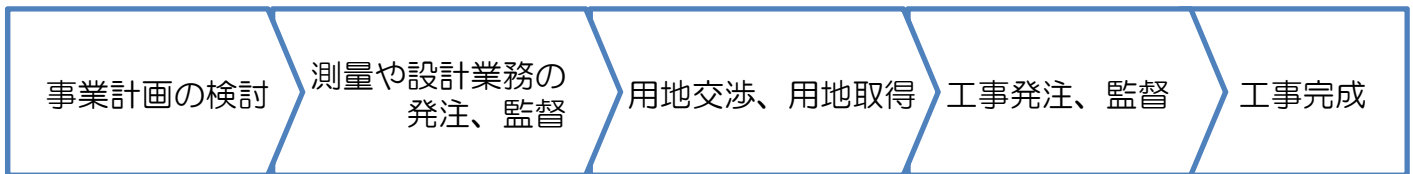
土木事務所：下田、熱海、沼津、富士、静岡、島田、袋井、浜松

特設事務所：田子の浦港管理事務所、清水港管理局、焼津漁港管理事務所、御前崎港管理事務所



出先機関の業務内容

社会インフラ整備の流れ（例）



土木職員の主な役割

①事業計画の検討

- ・ 地元や市町からの要望、災害や事故の履歴、現地の調査などを行い、事業の必要性を確認します。
- ・ 実施する事業の内容、期間、費用などの検討を行います。

②監 督

- ・ 現地の測量、構造物の設計、工事施工などは、入札により県から民間企業に発注します。
- ・ 民間企業が行う測量、設計、工事などの執行状況の確認、把握等を行い、契約の適正な履行を確保する業務（監督）を行います。



現場での打合せ

③地域住民への説明や情報提供

- ・ 事業を進めるにあたり、用地提供や工事の影響などがあることから、地域住民の理解、協力が必要となります。
- ・ 事業の計画段階から様々な場面で住民説明会、SNSを活用した情報発信などを実施します。



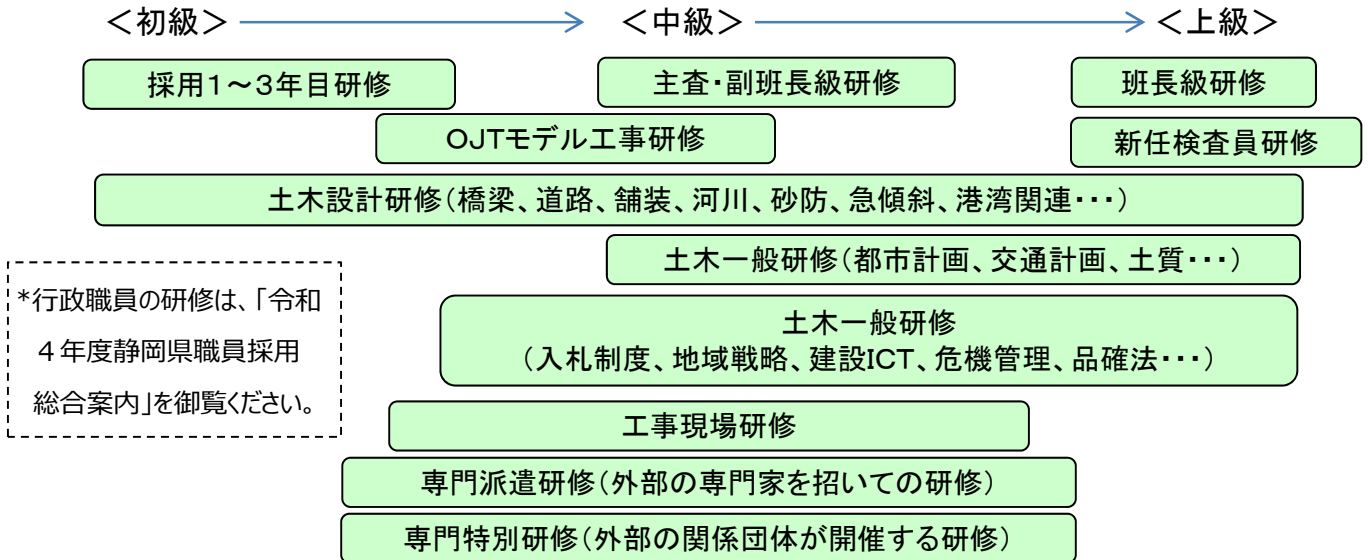
住民説明会

Instagram	Twitter	Facebook

SNSを活用した情報発信

人材育成（技術職員研修）

土木職員は、全職員が受ける研修にプラスして、土木職独自の研修を受け、業務遂行に必要な力をつけていきます。採用1～3年目までの初級研修をはじめ、職位に応じた研修や橋梁、道路、河川や砂防などの設計研修、さらに最新の行政課題を取り上げたテーマ別研修など、様々な研修を実施しています。



採用1年目研修（4日間）

静岡市駿河区用宗にある建設技術監理センターで、同期の職員や市町の職員と、土木職員としての基本的事項の研修をします。

- 土木技術公務員基礎
- 測量概論・演習
- 建設業法・入札制度
- 積算の基礎
- 災害復旧事業概論
- 積算の基礎
- 協働の取組
- 水防概論
- その他多数

チューター制度

土木職員にもチューター制度があります。身近な先輩が「チューター」として業務のサポートをしてくれます。

OJTモデル工事研修

On The Job Training として、実際の工事の担当監督員となり、先輩のサポートを受けながら、業務を通して、必要な知識・技術・技能・態度などを修得し、業務処理能力や力量を育成します。

所属 交通基盤部 政策管理局 建設政策課
技師 石橋 稜大（平成29年度採用）

現在の仕事

「3次元点群データ」を建設業界に普及させるための研修を企画しています。 現地測量や図面修正などの、人による煩雑な作業がなくなり、より働きやすい環境になることを目指しています。

これまで仕事をしてきて印象に残っていること

入庁4年目に、岩手県に1年間派遣され、東日本大震災で被災した防潮堤の復旧工事を担当しました。自らが携わった防潮堤が新たな町の一部になることに、土木職員としての責任とやりがいを実感しました。

入庁する前に不安だったことと、その解消について

入庁前は、配属先や仕事内容も分からなかったもので、あまり不安を感じませんでした。しかし、いざ配属されると、与えられた仕事をどのように進めたらいいかわからず、不安を感じましたが、先輩職員の皆さんに丁寧に教えていただくことで、一つずつ解消することができました。



先輩職員の声

所属 交通基盤部 道路局 道路企画課

技師 久保田 華子（平成30年度採用）

現在の仕事

県内の高規格道路の建設促進や利用促進、道路局の広報を担当しています。他機関（国や市町など）と調整する業務も多く、ダイナミックな建設現場を見学したり、開通式典を企画したりと、貴重な経験もしています。

これまで仕事をしてきてうれしかったこと

たくさんありますが、担当する現場付近の小学校で出前講座した後に、お礼のお手紙をいただいたことです。大人だけでなく子供たちにも、私たちの仕事が意味のあることで、地域の安心・安全につながっていると知ってもらえたことがうれしかったです。

静岡県の土木職員を目指している方に一言

どんなに困っていても、優しく手を差し伸べてくれる職員が必ずいます。誰でも最初は不安ですが、大丈夫！心強い先輩たちがあなたを迎えてくれると思います。（もちろん、私も待っています！笑）

仕事以外に熱中していること

社会人になってから始めたスノーボードです。仕事仲間に誘われ、今では毎年、先輩・後輩・所属関係なく、いろいろな人と行っています。この交流が、仕事をする上でも役立っています。

プライベートでの交流（一緒にスノーボードへ）



左が久保田技師、右が齋藤技師です。

所属 静岡土木事務所 河川改良課

技師 齋藤 晴菜（令和2年度採用）

現在の仕事

静岡市内にある巴川流域の河川整備の工事監督業務を担当しています。河川の草刈りや掘削工事が多いですが、麻機遊水地の整備などの大規模な業務にも携わっています。

これまで仕事をしてきた中で、うれしかったことは

古い護岸を新しいものに変える工事の際に、地元の人から直接お礼がありました。1年目でわからないことが多い中でも、一生懸命やってよかったと思いました。

入庁する前に不安だったことと、その解消について

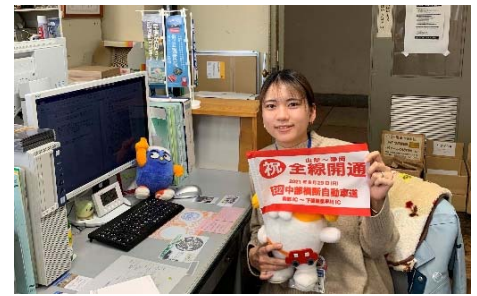
私は大学生から社会人になるとき、土木に関する知識に自信が無く、本当に自分に仕事ができるのかと、漠然とした不安がありました。それでも、同期と励まし合い、周りの先輩方からいろいろなことを教わりながら、少しずつ仕事を覚えていき、現在は不安もほとんどなく仕事できています。

静岡県の土木職員を目指している方に一言

現在、採用2年目で、まだまだわからないことばかりですが、先輩や上司が地元のために工夫しながら仕事をしている姿を見ると、自分も頑張らないといけなそう思うようになりました。一緒に頑張る仲間が増えればいいなと思っています！

仕事以外に熱中していること

冬は、職場の先輩（久保田技師）から譲ってもらった板で雪山を滑っています。今シーズンも3回ほど一緒に行きました。仕事以外でもたくさんお世話になっています。



先輩職員の声

所属 熱海土木事務所 工事課

技師 武藤 真（平成31年度採用）

現在の仕事

熱海市内の道路、河川、砂防、港湾・漁港事業の工事監督業務を担当しています。また、熱海市伊豆山土石流災害の復旧事業も担当しており、一日も早い復旧・復興を目指し、事業を進めています。



筆者は左です。

これまで仕事をしてきてうれしかったこと

「土木施設を作る」という目標に向かって、地域の皆様やコンサルタント、施工業者、市職員等と協力し、よいものを作ることができた時には大きな喜びを感じました。

入庁する前に不安だったことと、その解消について

入庁前は、土木に関する技術や経験が乏しいため、仕事についていけないのではないかと不安に感じていました。公務員は、個人ではなく組織として仕事をするので、上司や先輩にサポートしてもらいながら仕事をを行い、実務に必要な知識を身に付けることができました。

静岡県の土木職員を目指している方に一言

今回の災害を通じて、土木施設の重要性を非常に感じました。土木施設は常に身近にあるため、あることが当たり前と感じてしまいがちですが、被災して使えなくなると多くの人々の生活に影響を及ぼします。土木職員は地域の皆様の当たり前の生活を守り、地域の発展に寄与することができるため、やりがいのある魅力的な仕事だと思います。

所属 御前崎港管理事務所 企画振興課

技師 鈴木 円香（平成27年度採用）

現在の仕事

御前崎港、相良港、榛原港の施設の維持管理業務を担当しています。日々、港湾関係者や施工業者、設計コンサルタントと協力し、よりよい港になるよう考えながら整備を行っています。



現場パトロール中



これまで仕事をしてきた中で、うれしかったことは

自分が担当した現場が完成した時は、達成感があり毎回うれしい気持ちになります。きれいに整備された施設を県民の方々が利用している様子を見ると、仕事のやりがいを感じることができます。

入庁する前に不安だったことと、その解消について

入庁前は、具体的にどのような仕事を行うのか、自分に仕事が務まるのか、不安に感じていましたが、入庁後は、チューターや事務所内の先輩方が仕事の相談に乗ってくださり、一緒に問題解決に向けて考えてくれることが多かったです。心強い先輩方のおかげで、産休育休を経て、現在まで勤務が続けられています。

静岡県の土木職員を目指している方に一言

静岡県の土木職員になってから、道路、河川、港湾、都市計画等々、様々な現場の経験を積むことができました。様々な形で幅広く県民の生活に貢献できることが、県の土木職員の魅力だと思います。

風通しの良い職場が多く、サポートして下さる先輩方もたくさんいます。安心して採用試験を受けてほしいです。

土木職員が携わる主要な事業

道路事業

高規格幹線道路へのアクセス道路等の整備

道路ネットワーク拡充のため、地域高規格道路やアクセス道路等を整備しています。



国道473号金谷相良道路Ⅱ（島田市菊川～菊川市倉沢）



[管理施設(R2.4時点)]

- ・一般国道(指定区間外)12路線
- ・主要地方道56路線
- ・一般県道173路線

主要な渋滞箇所における渋滞対策

交通の円滑化を目指して、パイパスや長大橋の整備などの渋滞対策を実施しています。



県道富士由比線<富士川かりがね橋>（富士市）

安全な道路環境を確保する交通安全対策

歩行者の安全確保を目的とした交通安全対策を行っています。



県道富士宮富士公園線（富士宮市）

道路法面等の防災対策

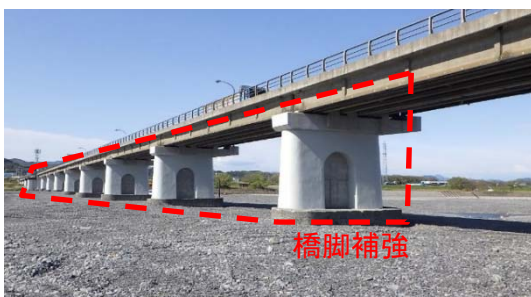
大雨等によって災害の発生が懸念される道路法面等の防災対策を実施しています。



国道362号（川根本町）

地震に備えた橋梁の耐震対策

地震の発生に備え、緊急輸送路等にある橋梁の耐震対策を実施しています。



県道島田吉田線<谷口橋>（島田市）

道路施設の長寿命化

橋梁、トンネル、舗装など一部の施設について、損傷の推移を適切に予測し、計画的に補修する「予防保全管理」を行っています。



県道伊東修善寺線（伊豆市）

港湾事業

豊かな暮らしを支える港湾の整備(物流・産業)

港湾は、世界とつながり、暮らしを支える物流の拠点となっています。迅速かつ効率的で、安全な物流環境を構築するため、防波堤や岸壁、道路、航路(浚渫)の他、荷役する機械や津波救命艇など、港湾に関する様々な施設を整備しています。



国際拠点港湾である清水港

- [管理施設(R4.3.31時点)]
- ・国際拠点港湾 清水港
 - ・重要港湾 田子の浦港、御前崎港
 - ・地方港湾 11港湾
 - ・港湾海岸83.2km



諸外国と定期航路でつなぐコンテナターミナル

豊かな暮らしを支える港湾の整備(交流・生活・環境)

港湾は、豊かな水辺空間を有しており、交流・賑わいの拠点となっています。人々が海辺を散策しながら集い、優れた景観を堪能できる水辺空間を創出します。また、クルーズ船やスーパーヨットなどの受入れ環境を整備し、観光を核とした地域の活性化も図ります。



海洋レクリエーション拠点の整備(清水港)



クルーズ船の受入れ環境整備(清水港)

漁港事業

水産物の効率的な供給を支える漁港の整備

水産業の振興及び水産物の安全で効率的な供給を支え、快適な海岸環境を創造するため、防波堤や岸壁、道路、航路(浚渫)の他、緑地なども整備しています。



日本一の水揚げを誇る焼津漁港(2020年統計)



整備した大水深岸壁(焼津外港-9.0m西岸壁)

- [管理施設(R4.3.31時点)]
- ・8漁港
 - ・漁港海岸39.2km



カツオ等の水揚げ状況

治水事業

県民生活の安全・安心と県土を守る

台風、大雨等による浸水被害が県内各地で発生しています。これらの被害を未然に防ぐため、河川の拡幅や放水路、遊水地などの整備や、環境に配慮した水辺づくり等を行うとともに、河川の適正な管理と秩序ある利用の促進をしています。



大谷川放水路（静岡市）



太田川ダム（森町）

[管理施設(R3.4.1時点)]

- ・一級河川 6水系261河川1,374km
- ・二級河川83水系259河川1,203km
- ・水管理・国土保全局海岸97.0km

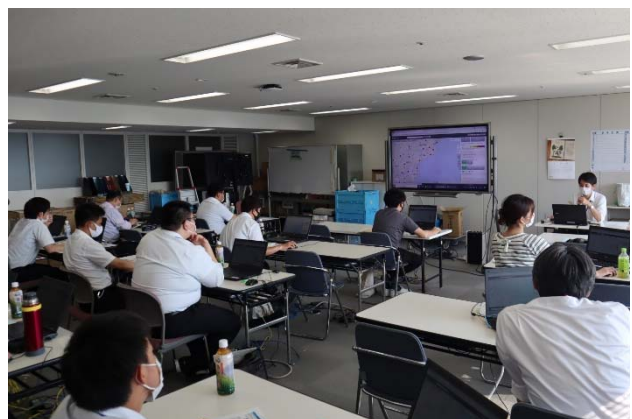
土砂災害対策事業

地域の皆さんの生命、財産を守る

県内では毎年約50件の土砂災害が発生しています。これらの被害を未然に防ぐため、砂防堰堤や、急傾斜地崩壊防止施設、地すべり防止施設などを整備するハード対策と土砂災害警戒区域等の指定や市町の警戒避難体制の整備を促進する等のソフト対策を進めています。



急傾斜地崩壊防止施設
（富士宮市）



市町職員を対象とした防災講習会の様子

区分	土砂災害警戒区域数(R3.3.31時点)
土石流	5,017溪流
地すべり	345箇所
急傾斜地	12,851箇所
合計	18,213箇所

地震による津波対策（海岸事業等）

静岡県では、地震・津波対策アクションプログラム2013を策定し、10年間に実施する具体的な対策と数値目標・達成時期を定め、想定される被害をできる限り軽減する「減災」を目指しています。[減災目標：想定される犠牲者を10年間で、8割減少]

その中で、重点施策に「新たな津波被害想定への対策」を位置付け、津波対策に取り組んでいます。

<静岡県 地震・津波対策アクションプログラム2013（H25.11策定）>

基本理念

減災

- ◆ 人命を守ることを最重視
- ◆ ハード・ソフトの両面から充実・強化
- ◆ 想定される被害をできる限り軽減

事業期間

10年間 平成25～令和4年度

全体事業費

約4,200億円

重点施策

(1) 新たな津波被害想定への対策

対策区分	取組内容
津波を 防 ぐ	防潮堤等津波防御施設の整備 ^(※) を進め、津波浸水域や浸水深の減少、避難時間の確保を目指します。
津波から 逃 げる	津波浸水域にいる全員が、迅速に適切な避難行動を取ることを目指します。
津波に 備 える	津波避難場所の空白地域を、解消することを目指します。

※防潮堤等津波防御施設の整備については、計画期間の10年間で、レベル1津波に対して必要な施設整備の5割程度の完了を目指しています。

(2) 超広域災害への対応

(3) 複合災害・連続災害対策（他部局関連）

●堤防の整備



相良須々木海岸

●公共土木施設への津波避難用階段の設置



●水門の整備



勝間田川水門

●津波災害警戒区域の指定

最大クラスの津波により浸水が想定される沿岸域で警戒避難体制の整備を行う「津波災害警戒区域」の指定を、地域の特性や市町の意向を尊重して、丁寧に進めています。



集約連携型都市づくりの推進・美しい景観の創造

人口減少下でも快適で安全に暮らせる持続可能な社会を形成

居住や都市機能の適切な配置や交通ネットワークの充実、美しい景観形成を進めています。

快適なまちがいいな

- 駅の近くには、病院や役所があると便利だね。住むのも駅の近くが暮らしやすいよ。
- 歩いて暮らせるまち、歩道や自転車道が整備されて暮らしやすいまちが理想だね。
- 下水道は生活で使った水をキレイにしてくれるんだ。快適な暮らしには必要だよ。

魅力的な景観をつくろう

- 富士山や茶園の景観って静岡らしいよね！魅力的な景色をみんなで大事にしよう。
- 広告物が周りの景観と調和していれば、地域のイメージはぐっと良くなるよね。

自家用車に頼りすぎちゃダメ

- 郊外に住むお年寄りは、もっと歳を取ると、車を運転できなくて買い物もできなくなっちゃう！
- 鉄道やバスがないと、困る時代がきつってくるよ。

都市公園事業

人々が集う緑の空間やレクリエーションの場を創出

都市における休息や運動、レクリエーションなどの拠点となる都市公園の整備を進めています。



「このはなアリーナ」（草薙総合運動場リニューアル事業）

市街地開発事業

快適で安全なまちづくりの推進

土地区画整理事業や市街地再開発事業等による良好な市街地の形成を支援しています。



「新東名IC周辺地区」
（土地区画整理事業）

街路事業

都市における人や物の円滑な移動を確保

円滑な交通と安全で快適な自転車・歩行者空間を確保するため、街路の整備を進めています。



「都市計画道路 本市場大淵線」（街路事業）

生活排水処理事業

生活排水を処理し、良好な生活環境を確保

下水道は息の長い事業ですが、整備や普及促進により着実に水質の維持・改善を進めています。



「狩野川西部浄化センター」（流域下水道事業）

水道事業・工業用水道事業

県民への生活用水の供給

水道事業では、関係市町へ良質な生活用水を安定的に供給しています。

県内企業への工業用水の供給

工業用水道事業では、多量の水を使用する県下工業地域の企業等へ、低廉な工業用水を安定的に供給しています。



ふじさん工業用水道 厚原浄水場



耐震化が完了した貯水施設

地域振興整備事業

産業基盤である企業の事業用地の整備

地域振興を図るため、企業誘致を進める市町と連携し工業用地を造成・供給しています。

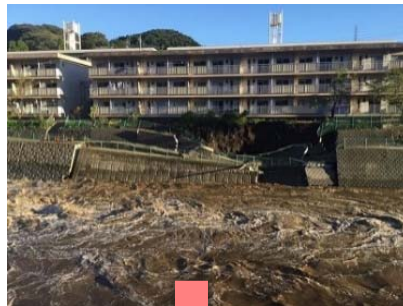
「藤枝高田工業団地」（藤枝市） →
（開発面積10.2ヘクタール、6社誘致）



災害復旧事業

被災した土木施設の早期復旧

豪雨や地震等により被災した道路や河川護岸等の公共土木施設を、地域の暮らしや産業等を守るために、1日も早い復旧に努めています。



二級河川鮎沢川 河川災害復旧事業（小山町生土）

公共事業のサポート

社会インフラ整備がより円滑に進むように、新技術・新工法の募集のほか、適正な入札制度や品質の良い土木施設ができるような取組をしています。

新時代の土木の仕事（イメージ） →





GOOD DESIGN
AWARD 2020



「デジタル・ツイン」※の展開

静岡県全域を網羅した3次元点群データによるVIRTUAL SHIZUOKAにより、様々な取組にチャレンジしています。

※「デジタル・ツイン」って何？

現実(リアル)空間をコピーした仮想(バーチャル)空間を再現することで、現実空間の将来予測やフィードバックなどを可能にする仕組みのことです。



戦略的PR

社会インフラが、広く県民に理解・信頼され、円滑に公共事業を推進できるようにするとともに、建設産業全体の発展を図るため、産学官連携により「静岡どぼくらぶ」※の取組を拡大し、戦略的なPRを推進しています。

※「静岡どぼくらぶ」って何？

土木の将来、静岡県の未来をともに考え、土木の現場でつながる広いサークル(仲間)です。

そして、静岡県の土木に関わる人みんながチームの一員という意識を持ち、この仕事に誇りを持ち、胸を張って仕事することを「静岡どぼくらぶ」がサポートします。

みんなの笑顔をつくり、ダイナミックな現場から土木の素敵を訴えかけるのが大切な役割です。

その想いが集まることで、「静岡どぼくらぶ」は「静岡どぼくLOVE」になり、土木への愛が詰まったメッセージを広く送ることができます。



●「静岡どぼくらぶ」講座

将来の担い手確保に向けて、現場見学や出前講座、実学講座によりキャリア教育を実施しています。



現場見学会



出前講座

●フォトコンテスト

建築や土木の魅力伝える写真を募集し、優秀作品は広報素材として活用しています。



交通基盤部カレンダー

●静岡どぼカード

ダイナミックなインフラを紹介するカードを発行し、インフラを訪問するきっかけを作ります。



おもて

過去5年土木職試験実施状況

< 大学卒業程度 >

年度	採用 予定数	1次試験 受験者 (a)	1次試験 合格者	最終 合格者 (b)	最終 倍率 (a)/(b)
H29	15	48	39	25	1.9
H30	20	45	42	23	2.0
R1	23	36	31	26	1.4
R2	17	31	27	18	1.7
R3	16	26	19	15	1.7

静岡県職員採用総合案内

静岡県職員採用試験の全般的な情報は、
こちらをご覧ください。

<http://www.pref.shizuoka.jp/zinzi/employ/info/info.html>

< 高等学校卒業程度 >

年度	採用 予定数	1次試験 受験者 (a)	1次試験 合格者	最終 合格者 (b)	最終 倍率 (a)/(b)
R2	3	7	4	4	1.8
R3	3	8	7	5	1.6

静岡県土木職に関する情報発信



< 技術職 P R 動画 >



ダイジェスト編



土木職編

静岡県土木職採用担当

Instagram 始めました!

\ Follow Me! /

●アプリをお持ちの方

@shizuokaken_doboku



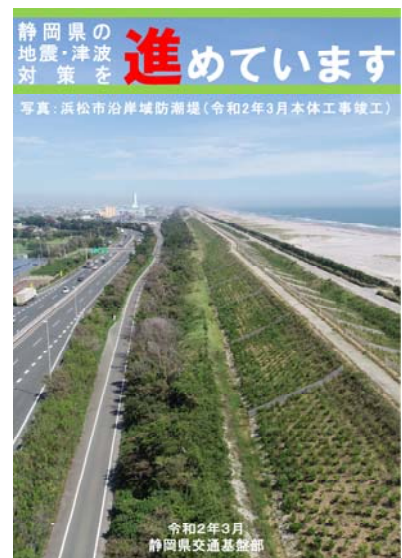
SHIZUOKAKEN.DOBOKU

●アプリをお持ちでない方



#就活 #23卒 #公務員志望 #静岡県どぼくのおしごと #静岡どぼくらぶ

関連パンフレット



これらのパンフレットは、静岡県交通基盤部Webサイトに掲載しています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-030/index.html>

静岡県 交通基盤部 政策管理局

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

電話：054-221-3190

E-mail kensei@pref.shizuoka.lg.jp